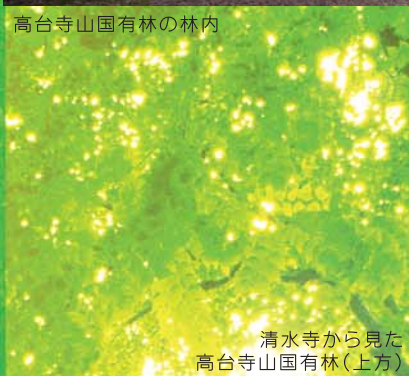
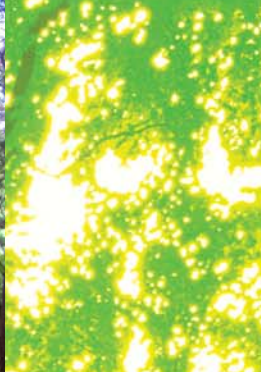


# 京都の

# 国 有 林



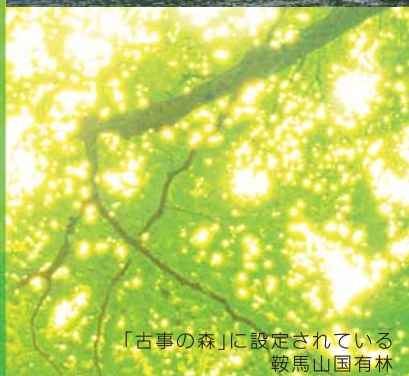
高台寺山国有林の林内



清水寺から見た  
高台寺山国有林(上方)



渡月橋越しに見る  
嵐山国有林



「古事の森」に設定されている  
鞍馬山国有林



京都は、東、北、西の三方を山に囲まれ、それぞれ「東山」、「北山」、「西山」と呼ばれています。この京都を囲む山々の多くは、国(林野庁)が管理する「国有林」となっています。「国有林」は、日本の森林全体の約3割、国土面積の約2割を占めています。

京都市内には、東山、北山、西山に約1,400haの国有林が所在しています。東山には、清水寺や高台寺、八坂神社、知恩院、青蓮院、南禅寺、銀閣寺などの背後に高台寺山国有林や南禅寺山国有林、銀閣寺山国有林などがあり、北山には、鞍馬山国有林や真船山国有林が、西山には、嵐山国有林や松尾山国有林があります。それぞれの国有林は、「世界文化遺産」にも指定されている社寺の重要な背景を構成しています。

これら京都の国有林は、林野庁近畿中国森林管理局の下部組織である「京都大阪森林管理事務所」が管理を担当しています。京都大阪森林管理事務所では、適切な森林施業の実施を通じて、京都の歴史的・文化的な景観の保全に取り組んでいます。最近では、「世界文化遺産貢献の森」「古事の森」の設定や、行政、研究者、文化人、社寺、市民などとの連携による、京都にマツの景色を復活させる取組などを行っています。



国民の森林・国有林

林野庁近畿中国森林管理局  
京都大阪森林管理事務所